

# 2007年度（2007年4月～2008年3月） スタンプ・ポイント実績調査結果

< 回答29団体 >

< 決算月は会により異なりますが本調査では、2007年4月から2008年3月の実績としました >

## 1. 発行回収状況

発行額増は2団体7%、減少は20団体69%

回収額増は2団体7%、減少は25団体86%

### 【発行】

前年比4%以上増加は2団体7%（06年度は10%）、4%以上減少は20団体69%（06年度は70%）、10%以上減少は8団体28%。

発行額全体では前年比9%減（06年度は6%）。

1億円強は春日部市商業協組のみに

今年度も前年比4%以上減少の団体が3分の2強を占めるといふきびしい発行状況だった。

発行額1億円強の団体は、昨年度は2団体（土手町振連、春日部市商業協組）、昨年度は3団体（土手町振連、春日部市商業協組、烏山駅前通り振組）あったが、07年度は春日部市商業協組の1団体のみとなった。

上位5団体のうち前年度比横ばい（プラスマイナス3%以内）は、春日部市商業協組のみ。その春日部も2%減なので、これを減少とみると上位5団体すべてが前年比マイナスになる。

協組新潟市商店連合会の24%増は、08年4月からのポイントカードリニューアルに向け加盟店にポイントカード活用を訴えたこと、西堀ローサ地下街など、ポイントカードの活用を力を入れ始めた地区が増えたことなどが主因。

佐世保福栄会協組の34%減は、郊外SCなどの影響のほか、発行額トップの食品スーパーの減少が主因。その店で消費者は独自ポイントと商店街ポイントのいずれかを選択できるが、1年半ほど前から独自ポイントの3倍セールなどを多発するようになり、商店街ポイントを選択する消費者が減少している。

土手町振連の24%減は、郊外SC等との競合激化・消費低迷のほか、昨年9月か

ら消費者還元を500ポイント500円から1500ポイント1000円にしたことなどによる。  
直方スタンプ事業協組の24%減は、郊外SC等の影響と有力発行店が昨年12月からポイント発行を控えるようになったことなどが主因。

## 【回収】

前年比4%以上増加は2団体7%(06年度は24%)、4%以上減少は25団体86%(06年度は60%)

回収額全体では前年比15%減(06年度も15%)

協組人吉商連の17%増は、旧満貼台紙の利用を08年2月末で停止したことが主因。

輪島市商店連盟協組の14%増は、旧満点カードの利用を08年3月末で停止したことが主因(07年10月15日から色を変えた新カードにした。サービス内容は以前と同じ)。

松葉町商店会協組の69%減、田辺市商業協組の49%減は、前年度が有効期限切れを前にしたかけこみ回収が多かったことの反動が主因。

佐世保福栄会協組の40%減は、発行減に伴うもの。

## 2. 加盟店数

この数年の傾向だが、今年度も加盟店数が減少する団体の増加が目立った。1店以上減少した団体は29団体中24団体で83%。うち、会員数の10%以上減少は8団体28%。

墨田区商連の64店減は、2007年度冒頭に3年間スタンプ買い上げのなかった店に退会勧告をしたことが主因。斜里ポテト協組の18店減は、中心部の道路拡幅に伴い廃業した店が多かったことが主因。

協組多賀城スタンプ会の9店増は、隣町のスタンプ会加盟店の一部が同スタンプ会の解散に伴い多賀城スタンプ会に加盟したことが主因。

協組人吉商連の3店増は、加盟勧誘の結果。同協組では、未加盟店でも説明すると加盟する可能性の高い店舗が少なくないという。

### 3 . 飲食・サービス業の発行・回収比率増

山中スタンプ会は、飲食・サービス業関係の発行回収比率が増えているという。山中温泉のある町で、地元のホテル・旅館で新年会等の会合などを開催する地元の団体も多いという。

また、2、3年前から地元にあるタクシー会社2社のうち1社が加盟、発行・回収ともしていることで病院通いなどに利用するお年寄りなどに好評という。

このほか葬儀社も2社加盟しており、全体として飲食・サービス関係の発行・回収比率が高まっている。